

連休もあけ、「さわやかな」五月になりました。「さわやかに」カッコがついているのは、今年の気候はどうも全国的に不順だったからです。気候だけでなく、政治も経済も「坂の上の雲」を目指すとはとても言い難い雰囲気です。とはいえ、長い連休のなか、日頃できないことに取り組みれたり、精神をリフレッシュされた先生方も多いと思います。そのリフレッシュ気分によって、今月も、ネットワークの活動の報告とこれからの予定をお送りします。

◆ 目次

【 1 】 最新活動報告

4月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

5月とそれ以降の活動予定をまとめて掲載します。夏休みの経済教室のプログラムを紹介します。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

■東京部会 (No.48)を開催しました

日時：2012年4月17日(木)、場所：日本大学7号館13階会議室3、参加者：14名

内容要旨:まず、篠原代表先生より、宇都宮での勉強会・ワークショップの報告、今後の活動についての報告に次いで、新井より、夏の経済教室の最終案が提示され、数式を使う入試問題についても紹介、検討がされました。また、高橋先生(都立桜修館中等教育学校)より、教材「経済成長と所得の関係を考える」が配布され、検討が加えられました。さらに、宮尾尊弘先生より、配布資料「経済成長の重要性」の内容が紹介され、経済学者による様々な説や経済学者と歴史学者の間の論争などが紹介され、討議されました。

内容の詳細については以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo048report.pdf>

■大阪部会 (No.28)を開催しました

日時：2012年4月28日(土)

場所：同志社大学大阪サテライトでおこなわれました。

内容の詳細については以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka28report.pdf>

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を日程順に掲載します。また、確定した夏の経済教室の内容を掲載します。

■東京部会 (No.49) を開催します

日時：5月17日(木) 19時00分～21時30分

場所：日本大学経済学部7号館13階会議室B

内容、参加方法の詳細に関しては以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo049flyer.pdf>

■札幌部会 (No.3)を開催します

日時：5月19日(土) 14時30分～16時30分

場所：北海道教育大学札幌校 サテライト教室 (Sapporo55ビル)

内容、参加方法の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo003flyer.pdf>

■京都部会 (No.14)を開催します

日時：5月25日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 光塩館2F 第二共同研究室

内容、参加方法の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto014flyer.pdf>

■夏の経済教室の、広島会場がきました

広島会場は、ワークピア広島(広島労働会館)「芙蓉」となりました。JR広島駅すぐ近くです。交通便利なところです。

広島地区以外の中国地方の先生方も集まりやすい場所ですので、ぜひご参加ください。

■夏の経済教室

夏休み「先生のための経済教室」の準備が進行しています。現在までに決まっている日程と内容は次の通りです。先月報告と一部変更があります。

8月2日(木) 広島会場、中学の先生向け(ワークピア広島)

「経済分野の教科書を読み解く」「指導要領の精神を授業にどう生かすか」

「実践紹介」「実践交流会」

8月3日(金) 広島会場、高等学校の先生向け(ワークピア広島)

「証券金融からの経済教育」「戦後国際金融史」

「大学入試問題を使って経済を教える」「経済から考える民主主義」

8月6日(月) 大阪会場、中学の先生向け(大阪国際会議場)

「経済分野の教科書を読み解く」「指導要領の精神を授業にどう生かすか」

「実践紹介」「実践交流会」

8月7日(火) 大阪会場、高等学校の先生向け(大阪国際会議場)

「証券金融からの経済教育」「教科書を読み解く<国民所得>」

- 「大学入試問題を使って経済を教える」「経済から考える民主主義」
- 8月8日(水) 名古屋会場、中学の先生向け(ウインクあいち)
「経済分野の教科書を読み解く」「法教育と経済教育」
「実践紹介」「実践交流会」
- 8月9日(木) 名古屋会場、高等学校の先生向け(ウインクあいち)
「証券金融からの経済教育」「戦後国際金融史」
「大学入試問題を使って経済を教える」「経済から考える民主主義」
- 8月16日(木) 東京会場、高等学校の先生向け(東京証券取引所)
「証券金融からの経済教育」「戦後国際金融史」
「大学入試問題を使って経済を教える」「講演: 元氣と勇氣が湧いてくる経済教育(柳川範之)」
- 8月17日(金) 同
「経済から考える民主主義」「国民所得の教え方」
「講演: 幸福の経済学(大竹文雄)」「国際経済の見方・教え方」
- 8月20日(月) 東京会場、中学の先生向け(東京証券取引所)
「現代史と経済」「実践紹介①」「実践紹介②」
「法教育と経済教育」
- 8月21日(火) 同
「経済分野の教科書を読み解く」「効率と公正をどう教えるか」
「実践紹介③」「実践交流会」

ネットワークの篠原代表が高校向けに「戦後国際金融史」を講義します。また、中川雅之先生が同じく高校向けに「経済から考える民主主義」の講義を予定しています。野間敏克先生には「入試問題を使って経済を教える」の講義をお願いしています。小巻泰之先生ご都合で大阪だけになりますが、高校向けに「国民所得の教え方」を講義していただく予定です。

講演では、東京大学の柳川範之先生、大阪大学の竹文雄先生を予定しています。ほかにも、恒例の教科書を読み解く、指導要領の精神を生かした授業を作り方の講義を、ネットワークメンバーの大学の先生方や、現・前・元の教科調査官の先生(樋口先生、大倉先生、大杉先生)をお願いをしています。証券金融は、今年は企業の社会的責任に焦点をあてた講義になる予定です。また、様々な実践紹介や実践交流会などを予定しています。なお、交渉中の先生方に関しては、確定し次第順次報告いたします。

内容に関するご希望などがありましたら、ネットワーク (contact@econ-edu.net)までお寄せください。

■法教育シンポジウムを後援します

ネットワークでは、6月に、法に関する教材開発研究会(事務局: 福井大学地域科学部橋本研究室)が開催する「シンポジウム・新学習要領における「法教育」のあり方を問う」を後援しています。また、中川雅之先生(日本大学経済学部教授)が指定討論者で登場します。

日時: 2012年6月17日(日) 13:00~16:30

場所：千代田区立 日比谷図書館文化館 スタジオプラス

参加方法など詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS,Sympo/20120410%20Symposium%20Law%20edu..pdf>

【 3 】 授業のヒント

「エッセイを書かせる」

ここでいうエッセイは、日本流の感想文ではありません。小論文のことです。いきなりフランスのバカロレア流のエッセイを書くことは無理ですから、さしあたりは小論文です。ちなみにバカロレアでは、半日かけて必修の哲学ではエッセイを書かせます。テーマは選択ですが、経済にちかいテーマでは「仕事は人間にとって必要な手段か」などというものが過去には出題されたことがあります。これを日本語で換算すると 4,000 字程度でまとめます。こうなると日本の高校生にとっては大論文になってしまいます。

それでも最後はこの程度のものが書けることを目標に順序ステップを踏んで訓練すれば可能になります。ポイントは、日本流の「起承転結」の四段構成ではなく、欧米流の三段構成の書き方を教えることです。三段構成は、序論・本論・結論の構成です。序論では、あるテーマに対して賛否を明確にします。本論でその論拠を書きます。その際に論拠を三つかくように指示することが大事です。三つであることにこだわる必要はないのですが、三つ論拠をあげるように頭を絞り出すことが、論理的に考える訓練になるとは経験的に言えます。最後の結論は、まとめで序論での結論を補強すればよいわけです。

この三段構成で文章を書くと、情緒はないけれど、社会科学系の命題に対してはかなり機械的にしっかりした文章がかけるようになります。日本の国語教育では、この種のライティング教育をしませんから、社会科の私たちが意図的に指導しないと、情緒的な作文を大学生でも書くことになりかねません。

生徒はこの種のエッセイを書くことに慣れていませんから、まずは賛成反対を明確にさせ、その論拠をあげる短い文章（200 字程度）を課し、その次に字数制限なしで、三段構成の文章を書かせ、最後に 600 字から 1200 字程度のエッセイを書かせるというこれも三段方式で指導してゆくとよいと思います。この方式で書かせると、テストなどでの採点は意外と簡単です。例えば、「消費税 10% 値上げ法案について」というテーマで書かせた場合を想定してみます。20 点配当にした場合、賛否が明確に書かれて三つの根拠がでていればそれぞれ 5 点で 15 点分、残りは言葉の使い方や構成に関する分で 5 点としておけば、生徒の書いたものを短時間で採点することができます。短時間に書かせるのですから、事前に予告しておくことも必要かもしれません。いずれにしても、書くことによって、学んだことを確認する。直前に暗記して、テストが終わると忘れるというパターンを打破する可能性があるこの方式、一度試みてみませんか。（新井）

【 4 】 編集後記 (みみずのたはこと)

連休は天気が悪く、ひたすら家にこもり、本を読むこととパソコンで遊んで暮らしました。読んだ本は「役立つ本」に時期をみて紹介しようと思っていますが、パソコンでは新しい発見がありました。こんなことは今更のことなのでしょうが、YOU TUBE などの映像の活用でまた違った世界を覗くことができました。特に連休では、落語の映像をずいぶん見ました。すべてを映像でみることはできませんが、なくなった古今亭志ん朝、これもなくなった桂枝雀などのアップされた映像を見ながら、惜しい人を亡くしたと本当に思いました。

落語をじっくり聞くことで、話術を学ぶこともできます。また授業展開を振り返ることもできます。まくらの置き方、本論に入った時の展開方法など特に古典の本格ものには学ぶことが多く、楽しみながら勉強ができます。また、同じ素材の「富久」と「高津富」を聞き比べることで、東西の違いも実感できます。枝雀のうどんの食べ方なんか素晴らしいものです。みなさんもパソコンで落語なんかどうですか。(新井)

=====

登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇◆◇ —————